

報道機関 各位

平成17年4月1日
国立大学法人 広島大学
広報グループ広報課長

広島大学入学式の挙行について

平成17年度広島大学入学式を、下記のとおり挙行しますのでお知らせします。なお、式場で取材をされる場合は、自社の腕章を着用していただくようお願いいたします。ご参考までに、学長訓示、入学者数等の資料を、別添のとおり送付します。

記

日時：平成17年4月3日(日)11時開式

場所：東広島運動公園体育館

東広島市西条町大字田口67番地の1

(添付資料)

- [式次第](#)
- [学長訓示](#)
- [平成17年度広島大学入学者数](#)
- [学生表彰者一覧](#)

【お問い合わせ先】

広島大学総務部総務グループ主査 木船
TEL:082-424-6016
E-mail:soumu-syogai@office.hiroshima-
u.ac.jp

[発信枚数;A4版 8枚(本票含む)]

平成17年度 広島大学入学式

日時 平成17年4月3(日)11時開式

場所 東広島運動公園体育館

式次第

- 一、開式の辞
- 一、国歌演奏
- 一、広島大学入学許可宣言
- 一、広島大学大学院入学許可宣言
- 一、学長訓示
- 一、学生表彰
- 一、広島大学歌斉唱
- 一、閉式の辞

訓示 国際的に活躍する人材の育成

皆さんご入学おめでとうございます。ご列席のご家族の皆さん、まことにおめでとうございます。

本日は、新入生の皆さんを迎えるにあたって、皆さんが国際的人材として育てられることへの期待について話をしたいと思います。

日本が、明治以来のキャッチアップの時代を終え、フロントランナーの時代を迎えたいま、国際的な視点があらゆる局面で重要になってきました。私達の日常生活も、世界との繋がりがなしには考えられません。フロントランナーの時代は、世界との関係がますます重要になるときです。そのような時代には、国際性を持った人材がより一層必要とされます。

広島大学では、到達目標を「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」と定め、その到達目標に到る具体的な行動計画を「長期ビジョン」として示しました。この長期ビジョンの中でも「諸活動における国際化の推進」を謳っています。実際、広島大学では「地域社会・国際社会との共存」を理念の一つに掲げ、従前から、海外の大学等との学術・教育交流を重視する方針をとってきましたし、今後もこの基本方針は堅持したいと考えています。このような姿勢は、日本国内でも高く評価されており、例えば、昨年3月に公表された「国際的な連携及び交流活動」に関する独立行政法人大学評価・学位授与機構による評価では、国内トップランクとして位置づけられています。また、海外からの留学生数は年々増加し、昨年11月現在で800名に達しており、外国人研究者数も目立って増加していますし、国際会議もますます活発に行われるようになるとともに、研究交流等国際交流活動が活発化しています。海外の大学等との交流も盛んとなり、現在150弱の国際交流協定を締結しています。

このような広島大学の国際活動を、海外の専門家を招いて視察し評価して頂き、その結果をもとにして、2003年3月に「広島大学の国際(国際化)戦略」という報告書をまとめました。この報告書では、国際化の目標を明示した上で、その目標に向けての具体的な15の戦略を提示しています。15の戦略の中には、国際化に関する数値目標の明確化、広島大学のブランド化、国際標準化、国際的人材育成、国際(国際化)戦略の拠点整備、国際大学ネットワークの形成、等々が示されています。

広島大学の国際戦略はこの報告書を基に進められています。実際、本学は、国際大学ネットワーク(INU)に加盟して、その理事校として活躍しており、国際連携もますます拡大しています。大学運営に関しても国の壁を越えて連携・協力しており、例えばニューヨーク州立大学元総長のジョンストン教授には、本学経営協議会の外部委員として、大学経営に参画していただいています。高度な国際共同研究や学術交流も、従来から活発に進められてきましたが、今後もますます活発化させたいと考えます。国際(国際化)戦略上重要となる海外の地域に広島大学の拠点を設けることは今後大切なことです。平成14年10月25日には、広島大学の協定校である中国北京市の首都師範大学内に「広島大学北京研究センター」を開所し、共同研究や留学生の募集・派遣などの海外拠点として活用しています。

このような国際(国際化)戦略を推進する広島大学で学ぶ皆さんは、自然に国際化の環境におかれることになると思います。教育においても、国際化への取組はい

ろいろと工夫されています。例えば、学士課程では、2003年度の新入生から英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであるTOEICを全学で実施しており、学生諸君の点数は毎回上昇傾向にあります。大学院では、技術系の博士課程前期の学生をアジア諸国の企業等に派遣し、国際的な視野と技術者倫理、コミュニケーション能力などを養うことのできる現場を体験する「国境を超えるエンジニア(通称、ECBO)」教育プログラムを実施しており、平成16年度にこの取組が文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されています。また、留学生との交流を通して、語学の実習のみならず異文化の理解を進めることができ、自然に国際感覚を身につけることができます。

新入生諸君が、本学の考え方をよく理解し、それぞれの分野で勉学に励むことによって、卒業時に立派な国際人として社会に飛び出していってくれることを期待しています。

平成17年4月3日
広島大学長 牟田 泰三

平成17年度 広島大学 入学者数

学部生	2,529名
専攻科生	15名
大学院生(修士及び博士課程前期)	1,113名
大学院生(博士課程)	111名
大学院生(専門職学位課程)	56名
合計	3,824名
外国人留学生(内数)	88名(19カ国)

■ 学部入学者

学部	入学者数	筆頭者氏名
総合科学部	138(61)	古賀 奏絵
文学部	146(92)	石上 博康
教育学部	◎ 2(1) 534(293)	吾郷千佳子
法学部(昼間コース)	◎ 4(2) 141(63)	細川 智美
法学部(夜間主コース)	45(18)	芳村かおり
経済学部(昼間コース)	◎ 2(0) 150(34)	有岡 祐貴
経済学部(夜間主コース)	63(24)	飯尾 恵美
理学部	256(50)	天羽 貴章
医学部	296(177)	山内 佳美
歯学部	99(56)	宮本 梢
工学部	◎ 4(0) 548(62)	菊地 博満
生物生産学部	113(60)	矢野 朝美
計	◎ 12(3) 2529(990)	

(注)◎は外国人留学生を内数で示す。()内は女子を内数で示す。

■ 専攻科入学者

学部	入学者数	筆頭者氏名
	15(13)	檜和田伊

知的障害教育専攻

久江

■ 大学院入学者

研究科名		修士課程 修士課程前期	博士課程 専門職学位 課程	筆頭者氏名
文学研究科		38 (21)	—	三宅 泰英
教育学研究科		◎28 (20) 202 (105)		河村 將道
社会科学研究科		◎12 (5) 85 (33)		岩田富美子
理学研究科		◎1 (1) 122 (27)		藤井 絵美
先端物質科学研究科		◎4 (1) 108 (9)		岡田 泰典
保健学研究科		◎1 (1) 49 (33)		中村 雅子
工学研究科		◎9 (1) 289 (18)		坂本 光
生物圏科学研究科		◎6 (1) 118 (45)		鈴木 敦
医歯薬学総合 研究科	修士	13 (10)		桑羽 賀子
	博士 前期	◎2 (1) 54 (34)		岡富 大輔
	博士	—	◎5 (3) 111 (30) 吉岡 宏治	
国際協力研究科		◎8 (8) 35 (20)	—	田尾 知希
法務研究科		—	56 (15)	末重 誠
合計		◎71 (8) 1113 (355)	◎5 (3) 167 (45)	

(注)◎は外国人留学生を内数で示す。()内は女子を内数で示す。

学生表彰者

学術研究活動(大学院生)

- ・ 大学院理学研究科博士課程後期 岩切雅英
結び目理論に関する研究で学界において高い評価を得た
- ・ 大学院先端物質科学研究科博士課程前期 木本健太郎
アンテナ無線通信に関する研究で学界において高い評価を得た
- ・ 大学院工学研究科博士課程前期 荻 崇
2004年度粉体工学会秋期研究発表会 ベストプレゼンテーション賞受賞
- ・ 大学院工学研究科博士課程前期 興津俊宏
第31回日新工業建築設計競技 2等賞受賞
- ・ 大学院工学研究科博士課程後期 川原知洋
2003年度第3回日本機械学会 福祉工学シンポジウムプレゼンテーション賞受賞
- ・ 大学院医歯薬学総合研究科博士課程 釜田寛子
第3回キャンパスベンチャーグランプリ 日刊工業新聞社賞受賞

課外活動

- ・ 体育会アーチェリー部 桑井一盛
第43回全日本学生アーチェリー個人選手権大会 準優勝
第17回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 男子コンパウンドの部 優勝
- ・ 体育会アーチェリー部 菅井若菜
第17回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 女子リカーブの部 準優勝
- ・ 体育会自動車部 (石川豊, 今岡健太, 砂川誠司)
2004年度全日本学生ダートトライアル選手権大会 団体準優勝
石川豊 個人戦第4位 今岡健太 個人戦第6位
- ・ 体育会自動車部 (高倉裕一, 白石健一, 石川豊)
2004年度全日本学生ジムカーナ選手権大会 団体第6位
- ・ 体育会自動車部 (近田哲也, 砂川誠司, 石川豊)
2004年度中国四国学生ダートトライアル選手権大会 団体優勝
- ・ 体育会柔道部 東家佳奈子
第20回全日本学生女子柔道体重別選手権大会 第3位
- ・ 体育会弓道部 小栗栖聡史
第52回全日本学生弓道選手権大会 個人戦第4位
- ・ 体育会弓道部 中島陽祐
第50回東西学生弓道選抜対抗試合 西日本選抜選手として出場
- ・ 体育会弓道部 七條大輔
第50回中国四国学生弓道選手権大会 男子個人戦 優勝
- ・ 体育会水泳部
第51回全国国公立大学選手権水泳競技大会

黒坂志穂 女子200M平泳ぎ 第7位 児玉尚 女子400M自由形 第8位

小野結貴 男子200M個人メドレー 第7位 男子400M個人メドレー 第5位

- ・ 体育会陸上競技部 井藤由希子

第73回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子10,000m競歩 準優勝

第59回国民体育大会陸上競技 成年女子5,000m競歩 第7位

- ・ 体育会バレーボール部 松本好恵

全日本バレーボール学生選抜東西対抗戦 西軍チーム選抜選手として出場